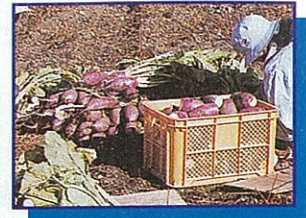


南会津のうりんニュース

第30号

平成12年11月10日発行
福島県南会津農林事務所



今月のトピック

農林水産まつりで南会津を紹介！

10月20日から22日まで郡山市のビックパレットにおいて「第3回うつくしま農林水産まつり」が開催されました。

当事務所では、南会津の農林業を理解してもらうため「南会津の郷土食とグリーン・ツーリズム」をテーマに、クイズ実施による南会津農林業の紹介や猿樂そば、しんごろう、そばやきもち、会津地鶏の焼き鳥など飲食物の販売、きのこや山菜加工品などの特産物販売を行い非常に好評を得ました。

クイズは、アスパラガス、ヒメサユリなどの種や会津地鶏の卵を見てもらい、それが大きくなったら何になるかをパネルを見ながら回答してもらうものです。回答者にはもれなく南会津の特産物をプレゼントすることにしたため、1日先着100名の回答用紙はすぐになくなりましたが、ダブルチャンス賞の南会津の銘酒セットだけを狙って回答した人もあり、とても好評でした。また、クイズ回答者へのプレゼントとして用意していた「りんどう」は、「南会津でないとこの色は出せない。是非売ってほしい」という人が沢山訪れ、「南会津のりんどう」の人気の高さには驚かされました。

なお、クイズの回答者547名の中から全問正解した385名のうち厳正な抽選の結果、3名の方に南会津の銘酒4銘柄セットをお送りしました。



人気の高かった南会津のクイズ

農業集落排水事業西朝日地区（只見町）の浄化センター竣工・通水式挙行される



関係者によるテープカット

10月18日に、只見町福井地内において、農業集落排水事業西朝日地区の浄化センター（汚水浄化施設）が待望の完成を迎え、一部供用が開始されることから、地元只見町と西朝日地区施設利用管理組合（船木幸一理事長）の共催による竣工・通水式が行われました。

この竣工・通水式には、南会津農林事務所の坂本農村整備部長、只見町の小沼町長をはじめ大竹町議会議長、地元行政区長ほか関係の方々が参列しました。午前10時30分から神事に続いてテープカットの後、小沼町長が稼働ポンプのスイッチを入れ、施設が本格的に始動することになりました。

西朝日地区は、黒谷、上福井、小川、下福井、楢戸の伊南川沿いの5集落をカバーし、平成13年度には、全域供用の予定となっています。

（農村整備部）

国民参加の森林づくりモデル事業開催

南会津地方国民参加の森林づくり推進協議会主催により9月25日と10月6日の2日間にわたって、国民参加の森林づくりモデル事業が開催されました。

これは、公立小中学校教職員経験者研修（10年程度）を支援するあたりで実施したもので、今年度で3回目の実施となります。今年度は、南会津管内の小中学校の教職員5名が参加しました。

1日目の9月25日には館岩村「しらかば公園」において、午前は農林事務所森林林業部の職員を講師として森林の働きや林業についての講義、午後からは館岩村在住の森林インストラクターである芳賀朝美氏を講師として野外活動教室を行い、自然観察の方法などについて学びました。

2日目の10月6日には実践編として、田島町町有林内において林業体験「枝打ち、除伐」を行いました。

参加者からは、「野外活動教室で学んだことをこれからの学校活動に活かしていきたい」「きつい作業だが、貴重な体験をした」等の感想があり、充実した時間を過ごしているようでした。



枝打ち、除伐体験

（森林林業部）

去る9月17日、猪苗代町「昭和の森」において第24回全国育樹祭が開催されました。

今回の全国育樹祭は、森・川・海を一体的にとらえた「循環の理念」のもと、森林と人との新しい関係「森林との共生」－森林に学び、森林に遊び、森林に働き、森林を守り、森林に暮らす－を全国に発信し、21世紀につながる森林づくりをアピールすることを目指し開催されました。

このような目的で開催された全国育樹祭を契機として、「うつくしま森林づくり2000」～西暦2000年を「新たな森林づくりのスタートの年」として、森林に親しみ、森林を育てる事業～を県内各地で展開しています。

南会津地方でも、5月23日に館岩村で行われた「地方植樹祭」(本紙25号参照)や、6月10日に伊南村で行われた「ファミリー緑の教室」(同26号参照)、田島高校生による「学校林における森林づくり」(同27号参照)、11月8日に実施した明和緑の少年団による「緑の文化財愛護運動」等が行われています。

今回は、10月15日に下郷町で行われた「森林ボランティアinうつくしま」について紹介します。

うつくしま森林づくりボランティア実行委員会、南会津地方国民参加の森林づくり推進協議会主催、南会津東部非出資漁業組合、田島町福祉協議会の後援により10月15日に下郷町「観音沼森林公園」周辺において、国民参加の森林づくりモデル事業「森林づくりボランティアinうつくしま」が開催されました。

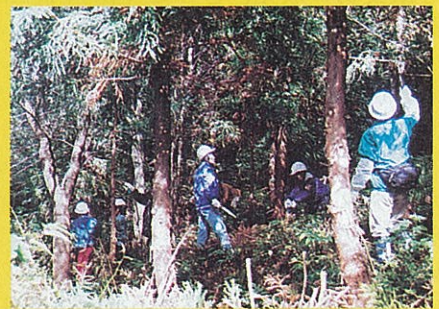
私たちの生活に様々な働きをしてくれている森林の手入れなどをとおして、森林の整備の必要性について理解してもらうため実施したもので、一般公募による参加者や南会津東部非出資漁業組合の職員など約50名が参加しました。

参加者は、南会津農林事務所森林林業部長から森林についての話

を聞いた後、森林公園の近隣地にある下郷町町有林において除伐や枝打ちの作業を行いました。初めての体験という人も多くなかなか作業は進みませんでしたが、最後はみんな夢中になってノコギリや鎌を握っていました。

青空が広がる公園内で昼食を取った後、福島県もりの案内人の國持美砂子さんを講師として、森林公園内の散策・観察を行い、紅葉が始まった観音沼の秋を満喫しました。

最後に、近くの河川に場所を移し、南会津東部非出資漁業組合理事の星真太郎さんから南会津の河川についての話を伺った後、イワナを放流し、森林と川とのつながりについて理解を深めていました。



除伐や枝打ちの体験



森林づくりを学んだ参加者

今後も、県民が森林に親しみ、森林を育てる機会を提供できる事業を展開して行く予定です。

(森林林業部)



～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
①G・Tインストラクター養成研修会	11月14日	田島建設会館
②農業機械研修「トラクタ基本運転」	11月27日～30日	農業短期大学校
③農業機械研修「トラクタの日常点検と 主要作業機の取扱い」	12月4日～7日	農業短期大学校
④農産加工研修「切り餅加工基礎」	12月6日	農業短期大学校

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 TEL0241-62-5866
南会津地域農業改良普及センター TEL0241-62-5262

南会津再発見

伝統料理「裁ちそば」について

檜枝岐村産業建設課

檜枝岐村は福島県の最南端に位置し、東は栃木県、南は群馬県、西は新潟県に接し、東北最高峰の「燧ヶ岳」等2,000m級の山々に囲まれ、村中心部の標高は939m、村全体面積の98%が山林という峡谷型山村で、平均気温9℃、平均積雪が2m近い県下有数の豪雪地帯です。

農業は、高冷地ということもあって、お米が実らず耕地が少ないためそばと野菜の栽培が主でした。そのため、昔から主食としていた「そば」の栽培が盛んに行われ、さらに数々の工夫を加え、おいしい「田舎・そば料理」が誕生しました。

その中でも村を代表する伝統料理とも言える「裁ちそば」は、つなぎ粉を一切使わない純正そばです。厚さ3mm程度にのぼし十数枚を重ねて、生地を裁つように切るところから、「裁ちそば」と呼ばれるようになりました。

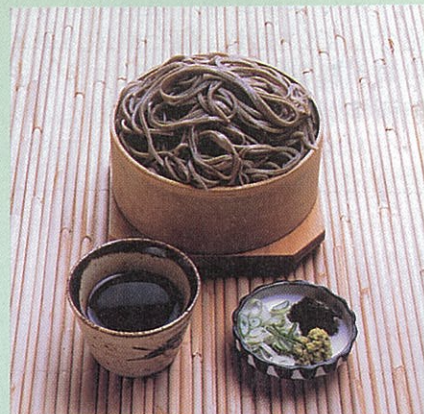
昔は、「裁ちそば」ができないとお嫁にいけないと言われ、また、うまく打てれば良妻として迎えられとまで言われており、そば打ちは主に女性の仕事の一つに数えられていました。

現在では檜枝岐村の名物として、村内の食堂・旅館・民宿等で出されており、多くの宿泊客、観光客に喜んで頂いております。

また、当村では昭和59年度より観光イベントの一つとして「新そば祭り」を秋のそば収穫後に実施しております。他町村より先駆けて実施しており、今年で17回目を迎えます。一定の料金で“食べ放題”となっており「裁ちそば」はもちろん、そば粉で作った「はっとう」「やきもち」「でんがく」の他、昔、山で働く男たちの生活から生まれた料理で山菜、きのこ、山椒魚、岩魚等の山河の幸をふんだんに盛り込んだ「山人料理」（“やもどりょうり”と読みます）もたくさん出され、またそば打ち名人の実演もあり、打ち立て・作りたての素朴な自然食の風情を味わうことができます。

さらに、村営の特産品センターそば工場でも、生麺・乾麺の「婿そば」や「花嫁そば」等、箱詰めのそば商品が作られており、県内外の観光客からお土産品として喜ばれております。

皆様も当村へ来る機会がありましたら、是非、檜枝岐名物「裁ちそば」をご賞味下さい。



JAPAN EXPO IN FUKUSHIMA うつくしま未来博

第1期前売り入場券 締め切り迫る！
(12月31日まで)

来年7月7日～9月30日に須賀川市で開かれる「うつくしま未来博」の第1期前売り入場券の締め切りが12月31日までと迫りました。今、前売り入場券を買うと、海外旅行などをはじめとする豪華賞品が総勢2001名に当たる「森の宝島プレゼント」、また、県内187カ所の観光スポットなどで優待割引が受けられるなどの特典がついてきます。



農林水産館のイメージ

是非このチャンスを逃さなよう、前売り入場券をお求め願います。

また、農林水産館では、循環の理念をコンセプトに来場者へ「福島の農林水産業」の重要性を分かりやすく伝えていきます。

お知らせ

**「育てよう！認定農業者
進めよう！農地流動化」**

～11月は「農業経営基盤強化促進月間」～

県、市町村及び関係団体は、11月を福島県農業経営基盤強化促進月間として、認定農業者の育成確保と農用地の利用集積を推進します。

これは地域の農業の担い手を確保するとともに、安定した経営体が地域農業の大部分を担うことを目標にしているものです。

強化月間では、各集落に2名以上の認定農業者を育成確保するとともに、農地の利用権設定率の1%アップを目指しています。

(農業振興部)



最近、「ふくしま日帰り温泉100湯」と「日本の秘湯」の二冊の本を手に入れました。「南会津地方に住んでいて、温泉入浴を体験しないで南会津を語る資格はない」との思いで購入し、早速、近間の温泉施設から温泉巡りを始めました。

「ふくしま日帰り温泉100湯」誌では福島県内の3地方および隣県の日帰り温泉施設、100ヶ所を紹介しています。南会津地方は6町村の6施設が紹介されており、その内4施設は公共温泉、すなわち町村等が経営する温泉施設です。それらは、低料金で施設も充実し、大浴場、露天風呂そして広々とした休憩所等があり、新緑の季節には眼前に鮮やかな緑が広がり、紅葉の季節も素晴らしい眺めです。

公共温泉のため、複数の施設は補助事業を活用して建設されました。「温泉施設の建設に補助事業は必要なのか」という批判もありますが、補助事業を活用して平成10年にオープンした、南郷村・山口温泉の「きらら289」の利用状況を見ますと、平成10年度は約61,900名（当初計画比100%）、平成11年度は約69,500名（同112%）と利用人数が伸びており、それに伴って施設収入も増加しています。過疎地域である当地方で、定住促進等のための、南会津の豊かな自然を活用した新たな観光産業、企業興しの事例となっています。

一方、「日本の秘湯」誌では北海道から鹿児島県までの全国の民間の温泉宿128ヶ所、福島県は18ヶ所が紹介されており、その内南会津地方は「湯ノ花温泉」「木賊温泉」「檜枝岐温泉」にある温泉宿が紹介されています。

同誌の当地方の温泉宿を紹介する文面では、「秘湯といえば、長野と東北に集まっているがそれだけ不便で山が深いということになるだろうか。〇〇温泉もご多分にもれず南会津の山の奥にひそんでいた」と書いてあります。

温泉につかると日頃の疲れが体の芯から解きほぐされ、くつろげるものです。手近な「日帰り温泉」から山奥の「秘湯」まで、こんなに気軽に楽しく温泉三昧できる地域はありません。

所長 中村 紘夫

ふるさとを顧みて

故郷を想う

埼玉県東松山市 櫻木 博さん
(下郷町落合出身)

月夜の晩に仕掛けた兎のワナを、明朝早く堅雪をギンギンと踏みしめながら確認に行った。ワナに掛かって、バタバタ暴れている兎を発見した時の興奮。そして、その晩は囲炉裏を囲んで、ワイワイガヤガヤの兎汁。今でも鮮明に覚えている。

その他に故郷の思い出は限りなくある。“冬近い時期に、家族総出で木の葉さらいに行き、山で芋を焼いて食べた時の感動” “毎日通った舗装されていない雑木林のトンネル道路” “加藤谷川での川干しや、夜突きによる魚捕り” 等々、次々に思い出される。どの思い出も、人の波、車の波の中で生活している私にとっては、大きな心の財産である。

数年前、ベストセラーになった春山茂雄著の「脳内革命」という本の中で、「山や川等自然を思い起こすだけでも、脳波はα波にコントロールされ、快感物質を分泌されて、これが健康で長生きにつながる。」と書いてあった。

私は、母に会う目的もあるが、できるだけ多く帰省する事にしている。そして、定年後は自宅を子供達に任せて、妻と二人で、故郷の片隅でゆったりと生活したい気持ちもある。昔は近くの山や川に行くと、人工的な物は全く目に入らず、人間社会から完全に抜け出した気分になれたが、最近は奥深い上流に行っても、心ない誰かが捨てた空カン等が目に入り、心の財産を汚された様な気になる。経済の発展に比例して、自然破壊が進み残念だ。何とか昔のままの自然でいて欲しいものです。



問い合わせ

あて先 〒967-0004
福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1
南会津農林事務所 地域農林企画室
TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349
E-mail m-nourin@akina.ne.jp
http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真

館岩の赤かぶ（館岩村）

この山里でしか赤くならない・・・



古紙配合率50%再生紙を使用しています



この広報紙は古紙配合率50%再生紙とSOY（大豆油）インキを使用しています。